

課題 5

計画年度 令和3～5年度

地域農業を支える多様な担い手の確保・育成

中部農業事務所 伊勢崎地区農業指導センター

1 課題設定の背景及び理由

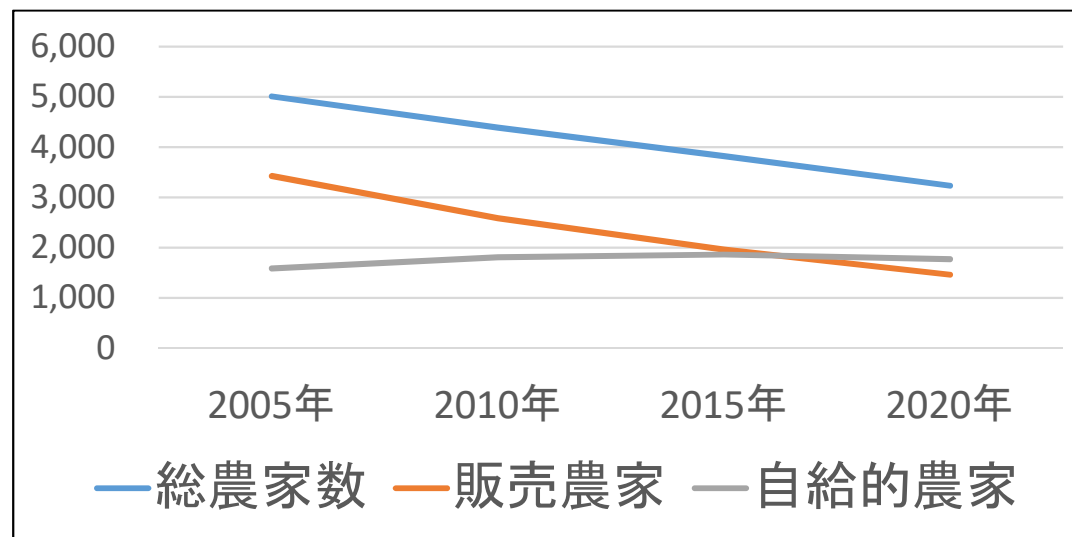
(1) 就農者の確保(就農の促進・就農後の育成)

➡ 高齢化による離農の増加と地域農業維持への懸念
経験の無い相談者の増加と就農形態の多様化

(2) 地域営農の維持が困難(集落営農組織の強化)

➡ 法人運営の円滑化と体質強化

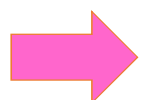
管内における農家数の推移 (戸)



※農林業センサスより

(3) 女性農業者の育成、男女共同参画

女性が農業就業人口の約半数を占めている



若手女性農業者の繋がりが希薄となっているのでは？

女性農業者の役割の高まり、活躍への期待

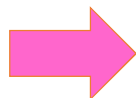
家族経営協定締結戸数と女性認定農業者数の推移

| | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 |
|---------------------------|-----|-----|-----|----|----|
| 家族経営協定締結数(戸) ※新規締結＋再締結 | 11 | 3 | 7 | 7 | 12 |
| 女性認定農業者数(戸) (共同申請含む) | — | 10 | 11 | 12 | 19 |

2 支援事項と解決手法

【支援事項】

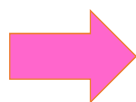
(1) 就農希望者の就農促進



就農相談の実施

※佐波伊勢崎担い手総合支援協議会・伊勢崎市・
玉村町との連携

(2) 新規就農者の確保・育成



就農実態の把握と農業知識・技術習得の機会

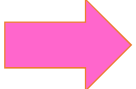
(3) 集落営農法人組織運営支援

- ・地域の米麦の集落営農法人の維持

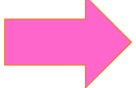
 佐波伊勢崎集落営農法人連絡協議会への支援

(4) 集落営農法人等の体質強化

- ・「人」「経営」「機械」「農地」を柱とした支援

 法人運営の中長期ビジョンの作成

(5) 女性農業者の育成と男女共同参画活動の推進

 若手女性リーダーの育成
家族経営協定締結の推進

※佐波伊勢崎農村女性会議との連携

【解決手法】

(1) 就農希望者の就農促進

| 主な活動 | R3 | R4 | R5 |
|------------|----|----|----|
| 就農相談、就農相談会 | ← | → | → |
| 就農相談体制の強化 | ← | → | → |

(2) 新規就農者の確保・育成

| 主な活動 | R3 | R4 | R5 |
|-------------------------|----|----|----|
| 佐波伊勢崎地域担い手育成総合支援協議会運営支援 | ← | → | → |
| フレッシュ農業セミナー等開催 | ← | → | → |
| 営農計画作成支援 | ← | → | → |

(3) 集落営農法人組織運営支援

| 主な活動 | R3 | R4 | R5 |
|-------------|----|----|----|
| プロジェクト会議の開催 | ← | → | → |
| 経営支援相談会の開催 | ← | → | → |
| 麦多収穫共励会の開催 | ← | → | |

(4) 集落営農法人等の体質強化

| 主な活動 | R3 | R4 | R5 |
|-----------|----|----|----|
| 若手法人構成員巡回 | ← | → | → |
| 経営の多角化推進 | ← | → | → |
| 研修会の開催 | ← | → | → |

(5) 女性農業者の育成と男女共同参画活動の推進

| 主な活動 | R3 | R4 | R5 |
|----------------|----|----|----|
| 若手女性リーダーの発掘・育成 | ← | → | → |
| 男女共同参画の推進 | ← | → | → |

3 到達目標(目標年次の姿)

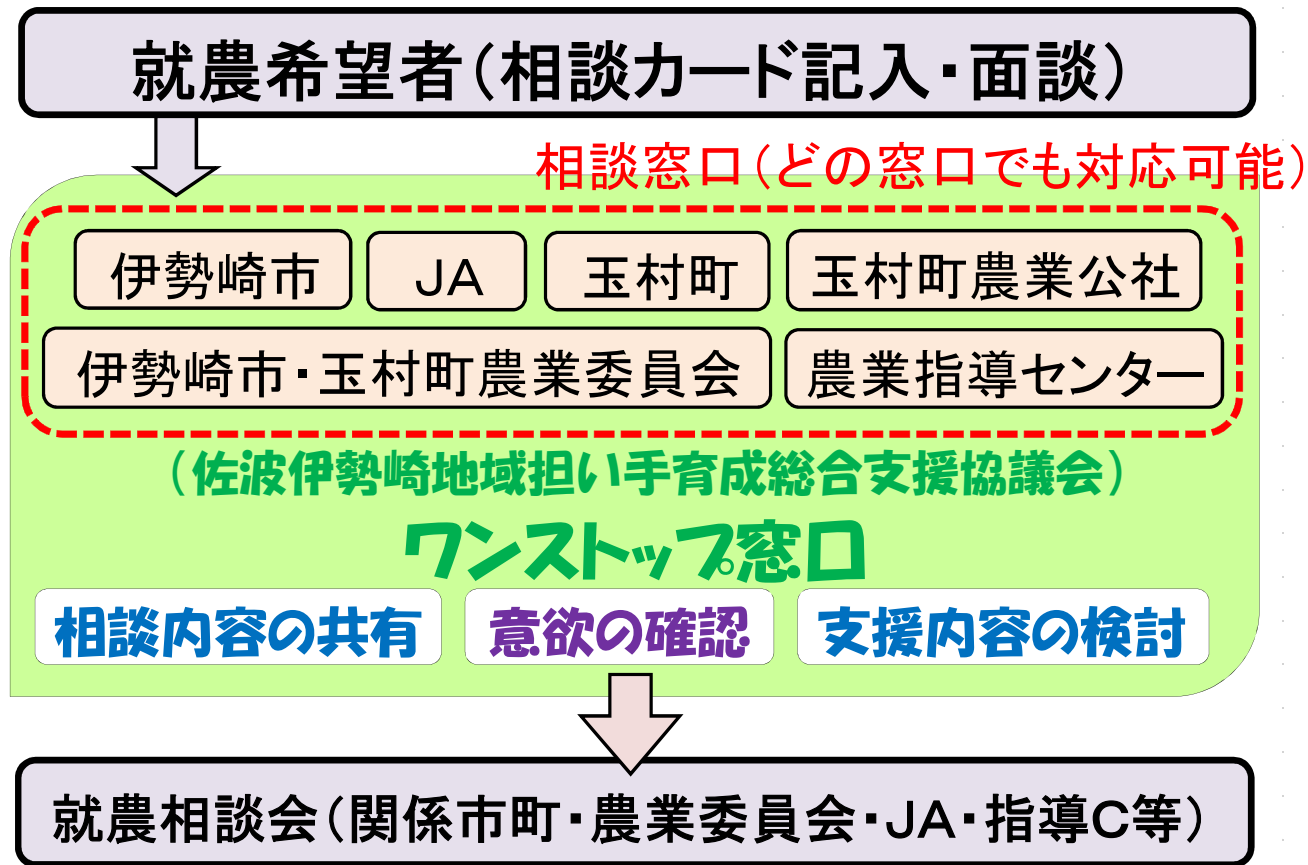
| 項目 \ 年次 | R2 (現状) | R3 (実績) | R4 | R5 |
|------------------------------|------------|--------------|-----|-----|
| 新規就農者数(人) * 45歳未満、独立自営、単年 | 20.4 ※ | 21 (21) | 21 | 21 |
| 体質強化取組み法人数(累計) | 0 | 1 (1) | 2 | 3 |
| 家族経営協定締結数(戸) | 185 | 189 (189) | 193 | 197 |

※は直近5か年の新規就農者数の単年度平均

4 活動経過

(1) 就農希望者の就農促進

就農前



指導センターの動き

※R3実績
就農相談回数:45回
就農者数:21人

相談者からの電話

面談

- ・就農意欲は？
- ・基礎知識は？
- ・農地は？
- ・行政に求める支援は？

徹底的な聞き取りと現状把握

関係機関へ情報共有

研修先は？

資金は？

就農相談会

営農計画は？

就農計画作成支援

営農開始

栽培技術支援

事業活用への相談

定着へ向けた継続支援

営農支援カルテの活用

(2) 新規就農者の育成・確保

就農直後

① 新規就農者の集い

- ・先輩農業者の視察、農業経営士からのアドバイス
 - ・農業青年クラブやJA青年部の活動紹介や加入促進 等
- ほ場で先輩の技術を見ることができる機会となった。
仲間づくりにつながるきっかけとなった。



先輩農業者の視察



新規就農者の集い

② フレッシュ農業セミナー(全4回)

- 農薬の適正使用
- 土壌・肥料の基礎知識
- 農作業安全・農業機械の操作
- 青色申告

➡ 延べ約50名が参加。基礎知識と技術を学ぶことが出来た。

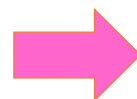


フレッシュ農業セミナー

③ 野菜の「新規栽培講座」

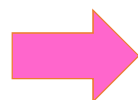
R3: 半促成ナス、露地ナス、ネギ

R4: 半促成ナス、露地ナス、抑制キュウリ



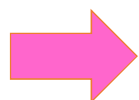
新規栽培者が知識・技術を習得出来た。

④ 「農業簿記講座」



新規就農者が簿記の基礎知識を学べる機会となった。

⑤ 個別巡回



新規就農者を中心に巡回し、栽培状況を確認。問題点を見つけ解決につなぐことが出来た。

就農後の定着支援

新規就農者を重点的にフォローアップ

【対象】

- ・フォローアップ農家 7件(うち女性農業者3人)
※重点指導農家のうち、経営の早期健全化が必要な経営体
- ・重点指導農家 21件(うち女性農業者8人)※妻含む
※給付金受給者、資金借受者等、就農後概ね5年以内

【活動経過】

- ・巡回活動の中で指導経過や課題を営農支援カルテに入力し、情報共有。(巡回数:36回)
- ・解決に向けた検討会を行い、対象者にフィードバック。

【変化】

- ・栽培技術、栽培計画見直しの確認に繋がっている。

営農支援カルテ ver2

事業所名 伊勢崎地区農家指導センター

| | | | | | |
|-------|---------------|-------------|----------------|------------|------------|
| No. | 1 | 支援開始年度 | 平成25年度 | 平成25年度(25) | 平成26年度(26) |
| 氏名 | | 住所 | | | |
| 経営内容 | 施設トマト、米 | 例)施設トマト、リンゴ | | | |
| 就農認定日 | 平成21年12月5日 | 就農日 | 平成23年4月1日 | | |
| 資金借受日 | 平成24年12月5日 | 2024/12/5 | 604,153 円 | | |
| 借受金額 | 10,000 千円 | | 1,000千円=「1000」 | | |
| 導入施設等 | トラクター、軽トラ、管理棟 | | | | |

| 年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 担当者氏名 | | | | | |
| 現状チェック表 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |
| 経営状況表 | 経営状況 | | | 総括表 | 総括表 |
| 支援状況表 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 |

(3) 集落営農法人組織運営支援 対象:26法人

○集落営農法人支援プロジェクト会議 4回

➡ 法人支援に対する合意形成が図れた

○さとのそら多収穫共励会(多収穫の部、収量増加伸び率の部)

➡ 法人間の競争心の醸成(栽培のモチベーションUP)

○インボイス制度研修会 2回

➡ 複雑な税制度の理解促進



インボイス研修会の様子

○個別相談会 20法人参加

➡ 抱える問題はそれぞれ違う
問題点の明確化



個別相談会の様子

(4) 集落営農法人等の体質強化

○若手農業者巡回指導(法人及び認定農業者) 14回

➡ 体質強化には若手の育成が不可欠
未来に向けたリーダー育成

○野菜導入支援 ネギ新規講座 2回

➡ R4から導入法人が出た

○スマート農業機械実演会 36名参加

➡ 直線キープ付き田植機の現地導入

○飼料イネWCS研修会 8法人で導入

➡ 生食用米の低迷により期待
収穫機の導入等も問題もある。

【中長期ビジョン(波志江北部)】 0法人→1法人

○若手雇用、新たな野菜導入など新たな動き

➡ 構成員で将来像を共有、他の法人に波及の動き



スマート農業機械実演会
試乗する若手生産者



野菜導入法人検討会

(5) 女性農業者の育成と男女共同参画活動の推進

① 若手女性リーダーの育成

ア 技術支援

【活動経過】

- ・農業女子フレッシュセミナーを動画視聴による研修会で実施した。

※動画内容「ベテラン農家に学ぶ～露地ホウレンソウ～」
(作業工程別に全5回を作成し、YouTubeで配信。)



第1回 施肥・耕うん・は種



第2回 除草剤の散布

【成果】

- ・作業のコツを映像で確認出来ることにより、自分の作業手順を見直すきっかけとなり資質向上につながった。(延べ約110人)

イ 女性組織活動への支援

【活動経過】

- ・佐波伊勢崎農村女性会議
役員会開催 2回
視察研修会(日本肥料) 中止
- ・佐波伊勢崎農村女性アドバイザー協議会
役員会開催 2回
現地研修会(あずま産直ねっと) 1回

【成果】

- ・情報交換の場を維持し、コロナ禍での活動のあり方を検討出来た。

②家族経営協定の推進

【活動経過】

- ・家族経営協定締結支援回数 8回
(農業委員会との連携による締結推進と作成支援)

【成果(締結件数)】

- ・185戸→189戸(新規3戸、再締結1戸)

5 残された課題と今後の対応

(1) 就農希望者の就農促進

【課題】

- ・多様化した就農希望者への対応方法

【今後の対応】

- ・佐波伊勢崎担い手育成総合支援協議会を核に、情報共有を図りながら個々に合わせた相談対応

(2) 新規就農者の確保・育成

【課題】

- ・定着に向けた個々への支援方法の確立

【今後の対応】

- ・農業青年組織の加入推進(地域になじむ近道・仲間づくり)
- ・農業経営士や農業委員をサポーターに加えた支援体制の整備

(3) 集落営農法人組織運営支援

【課題】

- ・高齢化、担い手不足による法人の維持
- ・米価の低迷や資材高騰等を含めた米麦経営を取り巻く状況の悪化

【今後の対応】

- ・法人運営の円滑化と経営の安定化を目指した支援

(4) 集落営農法人等の体質強化

【課題】

- ・若手の法人への定着及び育成
- ・新技術導入や畦畔除去による大規模化など発展的経営が進まない

【今後の対応】

- ・「人」「経営」「機械」「農地」を柱とした経営の多角化の推進

(5) 女性農業者の育成と男女共同参画活動の推進

【課題】

- ・若手女性農業者の掘り起こし
- ・支援方法

【今後の対応】

- ・若手女性農業者を点を線、さらに面への結びつけ
- ・コロナ禍に応じた情報交換の場（SNS活用含）
- ・家族経営協定締結へ向けた支援
（女性農業者の農業経営への参画）